

ナングスクコンペ2013設計競技入選作品個別講評

(最優秀賞)

・作品No3 **風が通り抜け、森に優しくつながるビクターセンター**

蒲地 史子 (久友設計(株))

木材が多く使われており、森の中で映えるのではないか。また、1階地下部分の提案がちゃんとなされており、2階のフロアに物販や展示などの機能が集約されていること。また3階は飲食、休憩スペースが隠され景色が堪能できる計画である。

(優秀賞)

・作品No8 **さくら庭 Visitor Center**

仲本 昌司+豊見里 和史 ((有)アトリエ・門口)

バリアフリーがちゃんと考慮されており、子供からお年寄りまで利用出来ること。2階に機能が集約されていること。1階と3階が自由に使える計画である。また、広場について非常に魅力的に表現されている。

(佳作)

・作品No5 **森の虫籠／ムイヌカゴ**

奥原 和明 ((株)現代設計)

よく考えて作られ、細かいところまで提案がなされている作品である。ソーラーチムニーを中心としてデザインの魅力が感じられ、「体験」が出来る施設であり子供たちを連れて行きたいと思える施設である。ただし、予算内で収まるかの問題がある。

・作品No13 **「静」から「動」へ！活気ある公園を目指して**

上原 早紀子+運天 希和子 ((有)名工企画設計)

素直な作品で、きれいにまとまっている。また、公園の中のゾーニングも提案されており全体的に気持ちが行き届いている。

(審査員特別賞)

・作品No15 **森の休憩箱**

比嘉 夏子 (エス・エヌ・ジー デザイン)

コンペらしい作品であり、囲われた建物を外から見る訳ではなく、囲われた建物の中から外を見る風景が提案されている。また、独り占めできる空間がおもしろい。ライトアップもしてみたい作品である。ただし、この計画のまま実現できるか疑問がある。